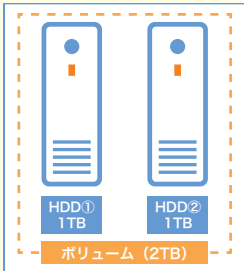
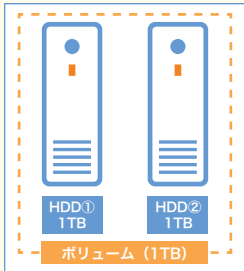


▶ HDD 構成

DS-2205B UHD 及び DS-4220 UHD では、ファームウェア Ver75 より、従来方式に加えてカセット方式<sup>※</sup>が使用できるようになりました。従来方式との違いは、以下の通りです。

※カセット方式 … シングルモードの HDD を複数作成し、HDD が故障した場合でも他の HDD が代用して録画が継続する機能です。

リニア	RAID1 (=ミラーリング)	カセット方式
 <p>【型番例】 DS-2205 UHD/200</p> <p>複数の HDD を 1つのボリュームとして扱います。1TB + 1TB の場合、2TB の 1つのボリュームとして扱います。</p> <p>HDD が 1 本故障した場合はボリュームが破損し、すべての録画データが失われます。復旧には、HDD の全交換が必要となります。</p>	 <p>【型番例】 DS-2205 UHD/200M</p> <p>同じデータを 2 本の HDD に書き込みすることで耐障害性を高めた構成です。同じデータを二重で保管しているため、HDD 2 本で 1 本分の容量しか使用できません。</p> <p>※ 1TB + 1TB の場合、1TB の 1つのボリュームとして扱います。</p> <p>HDD 1 本が故障した場合でもシステムは停止せず、録画データも失われません。復旧には、HDD の全交換が必要となります。</p>	 <p>【型番例】 DS-2205 UHD/200C</p> <p>1つの HDD を 1つのボリュームとして扱います。1TB + 1TB の場合、1TB のボリュームが 2 つできます。それぞれのボリュームに異なる録画データを保存します。</p> <p>HDD が 1 本故障した場合は、その HDD に保存されている録画データのみ失われ、閲覧できなくなります。故障した HDD 1 枚のみ交換することで復旧できます。</p>

※いずれの構成の場合も、HDD が故障した場合はセンドバックでの交換修理となります。

▶ 型番ごとの HDD 搭載数/構成

DS-2205B UHD	/100	ネットワークレコーダー [5ch] HDD1TB × 1枚	シングル
	/200	ネットワークレコーダー [5ch] HDD2TB × 1枚	シングル
	/400	ネットワークレコーダー [5ch] HDD4TB × 1枚	シングル
	/800	ネットワークレコーダー [5ch] HDD8TB × 1枚	シングル
	/1000	ネットワークレコーダー [5ch] HDD10TB × 1枚	シングル
	/1200	ネットワークレコーダー [5ch] HDD12TB × 1枚	シングル
	/1600	ネットワークレコーダー [5ch] HDD8TB × 2枚	リニア
	/2000	ネットワークレコーダー [5ch] HDD10TB × 2枚	リニア
	/2400	ネットワークレコーダー [5ch] HDD12TB × 2枚	リニア
	/100M	ネットワークレコーダー [5ch] HDD1TB × 2枚	RAID1構成
	/200M	ネットワークレコーダー [5ch] HDD2TB × 2枚	RAID1構成
	/400M	ネットワークレコーダー [5ch] HDD4TB × 2枚	RAID1構成
	/800M	ネットワークレコーダー [5ch] HDD8TB × 2枚	RAID1構成
	/1000M	ネットワークレコーダー [5ch] HDD10TB × 2枚	RAID1構成
	/1200M	ネットワークレコーダー [5ch] HDD12TB × 2枚	RAID1構成
	/200C	ネットワークレコーダー [5ch] HDD1TB × 2枚	カセット方式
/400C	ネットワークレコーダー [5ch] HDD2TB × 2枚	カセット方式	
/800C	ネットワークレコーダー [5ch] HDD4TB × 2枚	カセット方式	
/1600C	ネットワークレコーダー [5ch] HDD8TB × 2枚	カセット方式	
/2000C	ネットワークレコーダー [5ch] HDD10TB × 2枚	カセット方式	
/2400C	ネットワークレコーダー [5ch] HDD12TB × 2枚	カセット方式	